

～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 29 年 5 月 25 日 (N0.91)



浦幌町教育委員会  
浦幌町教育研究所

平成 29 年度 第 1 回

## 浦幌町総合教育会議

■5月25日、総合教育会議(会長 水澤町長)が開催され、3年目を迎えた小中一貫CSの取組について話し合われました。教育委員から次のような成果があげられました。

### ■小中一貫CSの成果

- ①小中学校間、学校・家庭・地域間の垣根が低くなり、組織的な協働体制が生まれてきた。
- ②学校に対する理解が深まり、学校や地域の人たちに活気がでてきた。
- ③子供たちが浦幌の魅力に触れ、地域への愛着や誇りが芽生えてきた。
- ④「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域と学校がパートナーとなって、連携・協働して子供たちを育てていく活動が見られるようになった。
- ⑤熟議を通して、アクションプランに掲げられた「スマホやゲーム機使用のルール」を全町に宣言したことにより、各家庭が共通に取り組めるようになった。
- ⑥教育委員と社会教育委員の合同研修会で、当事者意識を高めるための熟議を行った。CSの浸透には時間を要するが、まず私たちが主体意識を持って取り組んでいくことが大切である。
- ⑦CS導入を契機として、公民館カフェを開設するなど、公民館活動の活性化が図られてきた。
- ⑧学園大運動会や公民館祭、寿大学等の活動を通して、学校・公民館・地域がつながるようになってきた。また、農業青年の支援や高齢者との交流が盛んになってきた。

### ■研修「地域学校協働活動の在り方」について

講師 近江正隆 氏

## 第1回教育の日実践交流会

(日 時) 6月17日(土)9:00～

(場 所) 浦幌町中央公民館

(テーマ) 「学力及び体力の向上」

(内 容)

- ・第1部 スマホ・ゲーム機使用のルール取組状況報告

- ・第2部 講 演

演題「この時代の家庭と子育てに必要なこと」

講師 ラジオパーソナリティ・ファミリーアドバイザー

かね こ こう し  
金子 耕 三 氏

(町内外を問わずどなたでも参加できます。)

- ・第3部 今後の取組説明



昨年の教育の日実践交流会